

施工要領

輸入壁紙は施工難易度が高く、施工費が割増になる場合があります。あらかじめご了承ください。
壁紙全般に共通する基本的な注意点は「取扱いのご注意」をご参照ください。

Morris & Co. -Import Collection- LIS-42005～42024

イギリス製の52cm巾にスリット加工(化粧断ち)された紙壁紙です。紙素材の特徴でもある透湿性、伸縮性があります。

●下地処理は平滑に

商品厚が薄いため、下地処理はできるだけ平滑にしてください。

●接着剤

接着剤は、水分量があらかじめ調整されている原液タイプをおすすめします。希釈タイプの場合は、濃い目(6～7割希釈)を少なめに塗布してください。

●オープンタイムは短めに

紙素材のため、うませ時間10～20分、施工可能時間は30分以内が目安です。たみジワを防ぐため、接着剤塗布後は大きいたみ、上積みを避けてください。

●ジョイントは突き付け施工

あらかじめスリット加工(化粧断ち)を施していますので、ジョイントは突き付け施工となります。

●強い摩擦にご注意

紙素材のため、一般ビニル壁紙よりも優しく扱ってください。なで付けは柔らかい刷毛を、ジョイントはウレタン製のローラーをご使用ください。粘着テープの使用は、テープを剥がした際に壁紙表面を破損するおそれがありますので、なるべく使用は控えてください。湿った状態で壁紙表面を強くこすると色落ちすることがありますのでご注意ください。

使用上のご注意

壁紙は色や柄などの意匠性を重視した化粧仕上げ材ですから、コンクリートなどの建材と異なり、10～20年といった長期間に渡る維持は期待できません。したがって、ある程度の期間はメンテナンスを行ない、次いで張り替えるという使い方が、壁紙の価値を活かす最適な方法です。壁紙は室内のホコリや油污れ・手垢などにより自然と徐々に汚れていきます。仕上がりの美しさを維持していただくためにも、使用上の注意とメンテナンスにご配慮ください。壁紙の耐用年数は、使い方次第で大きく異なってくるものです。

一般的注意事項

●入居後は、まず換気を

施工時の臭いが残っている場合がありますので、入居後一週間程度は十分に換気を行ってください。

●直射日光からの保護

直射日光が当たると、紫外線により色褪せがしやすくなります。部屋を使用していないときは、カーテンやブラインドを活用し、直射日光を避けるよう心がけてください。

●高温・熱風を避ける

ストーブなど暖房器具の熱風が直接壁紙に当たらないようにしてください。また、キッチンのレンジやダウンライトのすぐ近くなど、高温になる場所への使用は避けてください。熱により壁紙が変形、変色することがあります。

●粘着テープを貼らない

粘着テープ(セロハンテープやガムテープなど)を壁紙に貼らないでください。テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。また、粘着テープを剥がす時に壁紙が破損することがあります。

●薬品や化粧品などを付着させない

スプレー式の薬品、殺虫剤、化粧品を壁紙に吹き付けしないでください。壁紙が変色することがあります。

●家具を壁面に密着させない

家具の塗料に含まれる色素やベニヤの色素により、壁紙が変色することがあります。家具と壁紙の間は空間の余裕をとってください。空間を設けることは、変色だけでなく結露やカビの予防にもなります。

●室内空気の汚れについて

室内空気の汚れ(ホコリ、タバコ、キッチンからの油煙など)は、壁紙を短時間で黄変させてしまいます。特に壁紙のジョイント部は、壁裏面との通気口となりやすく、壁紙表面と比較し空気の流れが集中するため汚れが目立つ場合があります。できるだけ室内の換気を心がけてください。

ホコリや汚れ

汚れが付きやすく拭き取りが困難なため、お取り扱いにはご注意ください。色柄やジョイント部の色差が発生する場合があります。

部分的な剥がれ

時間の経過と共に部分的な剥がれが生じる場合があります。きれいに補修するコツはできるだけ早く対処することです。剥がれてから時間が経ったものや、劣化して固くなったものは補修が困難になります。剥がれが広がる前に下地の汚れを取り去り、木工用水性接着剤など強めの接着剤を壁紙裏面に塗り付け、十分圧着してください。特に部屋のコーナー部、サッシや水のかかりやすい洗面台の周囲、通気の悪い箇所などは注意しておきましょう。このような場所には、あらかじめコーキングで枠回りをコーキングしておけば、ある程度剥がれを防ぐことができます。

結露やカビ

結露や過度の湿気は、シミ・剥がれ・カビの原因となりますので、室内の換気や湿度調整を心がけてください。カビは見た目の悪さの問題だけでなく、アレルギーや喘息など、病気の原因になることがありますので注意が必要です。カビの発生や繁殖を抑制する「防かび」壁紙もありますが、壁紙単体でカビの発生を防ぐことは不可能です。カビは住宅の構造や生活環境に大きく影響を受けます。常に換気を心がけ、通風を良くし、湿度の上昇をおさえてください。カビが大量に発生した場合は、ハウスクリーニング会社などにご相談ください。

●換気・除湿を行なう

常に換気を心がけ、発生した水蒸気を外へ排出してください。特に浴室や調理時の水蒸気などは換気扇を利用して排出してください。除湿機、吸湿剤などを活用し、余分な水蒸気を除去することも有効です。

●冬の結露について

室内と外気の温度差が激しい冬は結露しやすい時期です。加湿器を使用した後は特に結露しやすくなります。換気や除湿に十分に注意しましょう。外に面した室内の壁が異常に結露する場合は、断熱材の不足や不備、建物自体の構造の問題が考えられますので、早めに対処しましょう。